

つきたての餅で収穫の喜びを実感

## 室場小学校 餅つき体験学習

室場小学校で1月15日、5年生児童による餅つき体験学習が行われました。「米こめランド」と呼ばれる水田で昨年6月に田植え、10月に稲刈りを体験し、米作りを学ぶことができました。この日、収穫したもち米と古代米を使い10臼分が用意され、地域の方やJA西三河の協力のもと、児童は「よいしょ、よいしょ」の掛け声とともに、石臼を目掛けてきねを振り下ろしていました。つきたての餅は全校児童や室場保育園児に振る舞われ、収穫の喜びを実感していました。



食べて・飲んで残そう！ にしがま線

## にしがま線利用促進 東幡豆駅売店

名鉄西尾・蒲郡線の利用促進を図ろうと、1月16日・17日・23日・24日の4日間限定の売店が東幡豆駅前にオープンしました。ホームに降り立った人々は売店を訪れ、地元のいか焼きや干物、まんじゅうなどを購入し、地酒や自家焙煎のコーヒーを片手に味わっていました。西尾のアサリ・のり・ネギ、蒲郡のちくわを使い、アサリベースのしょうゆ味で仕上げられた「にしがまラーメン」も大好評。沿線の魅力のPRに一役買っていました。



吉良・岡山の史跡を散策

## 文化遺産！発見ウォーク



2月7日、華蔵寺周辺で文化遺産！発見ウォークが開催されました。今もなお残る文化遺産の面白さを体感しようといわれたもので、参加者は華蔵寺をスタートした後、市学芸員や吉良あないびとの会会員による解説に耳を傾け、善光寺沢南古墳や吉良八幡山古墳、瀬門神社などを巡りました。途中、遺跡分布調査のデモンストレーションを体験しながらウォーキングを楽しみ、心地よい汗を流しました。

選挙ってなに？ 投票を模擬体験

## 選挙出前トーク



選挙出前トークが1月15日、津平小学校で行われました。模擬投票では、次期校長先生を2人の候補者から選ぶという選挙に挑戦。参加した6年生は、事前に配布された選挙公報や候補者の演説を参考に、誰が校長先生にふさわしいかを真剣に考えていました。投票では、投票管理者や受け付けなども体験。この他選挙に関するクイズなどで楽しみながら選挙について学びました。参加した児童は「18歳になったら投票に行く」と笑顔で話してくれました。



## 「三河湾の黒真珠」と呼ばれる黒壁の家並みを整備 黒壁運動&里山づくり

島の景観と里山の環境を守ろうと、黒壁運動&里山づくりが2月7日、佐久島で行われました。島民とボランティア合わせて約170人が参集。弁天サロンやおひるねハウスなど、各持ち場に分かれ、防護服を着用して作業を始めました。強い潮風の中での作業ではありませんが、声を掛け合いながら、笑顔で塗料を塗っていました。作業の後に、おでんや島の幸が詰まった味噌汁などが振る舞われると「おいしー温まるねー」と体の芯まで温まった様子でした。



## わたしたちの真っ向防災！ 防災フォーラム

西尾市防災フォーラムが1月30日、文化会館小ホールで開催されました。この地域で被害が予想される南海トラフ地震に、どのように備えて行動するかを考える機会とするもので、約300人の市民が参加しました。第1部では名古屋大学減災連携センターの近藤ひろ子氏の進行で、市内中学校の生徒14人が地域防災についてパネルディスカッションを行い、最後に防災標語を発表しました。第2部では岩手日報社大船渡支局長の内城俊充氏が、東日本大震災直後の岩手県の様子などについて基調講演を行いました。



## 海岸沿いを舞台に3,485人のランナーが力走 一色マラソン大会



第51回一色マラソン大会が1月24日、一色町体育館周辺で開催されました。元オリンピック選手の谷口浩美さんと大島めぐみさんをスペシャルゲストに迎え、ハーフマラソンや10km、5kmなど25の部門に県内外から過去最高の4,136人がエントリー、3,485人のランナーが三河湾を望む海岸線で健脚を競いました。冷たい風が吹き荒れる中、ランナーは沿道から送られる声援を受け、力いっぱい走っていました。

## 手作りのチョコレート上手にできたね！ 親子ふれあい活動（幡豆公民館講座）



親子ふれあい活動「バレンタインのチョコ作り」が2月6日、幡豆いきいきセンターで行われました。14日のバレンタインデーに向けて小学生の親子7組15人が参加し、チョコマフィンやチョコ団子など4種類のチョコレート菓子作りに挑戦。プレゼントする相手のことを思いながら、親子で協力して生地を混ぜたり、カラフルなチョコスプレーで飾りつけたりしました。誰にプレゼントするのか子どもたちに尋ねると「自分」「お父さん」と教えてくれました。